

平成29年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年3月2日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 アインホールディングス

 コード番号 9627 URL <http://www.aini.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大谷 喜一

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務

(氏名) 水島 利英

TEL 011-814-1000

四半期報告書提出予定日 平成29年3月17日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年4月期第3四半期の連結業績(平成28年5月1日～平成29年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第3四半期	182,100	7.5	9,591	△4.1	10,019	△2.9	5,438	△1.7
28年4月期第3四半期	169,395	24.2	10,004	33.2	10,315	31.8	5,531	23.7

(注) 包括利益 29年4月期第3四半期 5,576百万円 (3.1%) 28年4月期第3四半期 5,408百万円 (17.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第3四半期	171.53	—
28年4月期第3四半期	174.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年4月期第3四半期	154,224	57,632	37.3	1,816.01
28年4月期	139,888	53,324	38.1	1,679.69

(参考) 自己資本 29年4月期第3四半期 57,581百万円 28年4月期 53,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期	—	0.00	—	40.00	40.00
29年4月期	—	0.00	—	—	—
29年4月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年4月期の連結業績予想(平成28年5月1日～平成29年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	6.5	14,800	1.2	15,300	0.9	8,300	4.8	261.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成29年3月2日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年4月期3Q	31,888,212 株	28年4月期	31,888,212 株
29年4月期3Q	180,644 株	28年4月期	180,595 株
29年4月期3Q	31,707,568 株	28年4月期3Q	31,707,617 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年5月1日～平成29年1月31日)におけるわが国の経済は、個人消費に持ち直しの動きがみられ、景気は、一部に改善の遅れもみられますが、緩やかな回復基調が続いております。企業収益については、高い水準にあるものの改善に足踏みをしております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局の新規出店及びM&Aによる事業拡大をはじめ、都市型ドラッグストア事業を推進し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高が1,821億円(前年同期比7.5%増)、営業利益は95億9千1百万円(同4.1%減)、経常利益は100億1千9百万円(同2.9%減)となり、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は54億3千8百万円(同1.7%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(医薬事業)

平成28年4月の調剤報酬改定では、いわゆる門前薬局の評価が見直される一方、患者本位の医薬分業の実現に向けて、かかりつけ薬剤師・薬局となることが強く求められる内容となりました。

当社グループでは、引き続き、「かかりつけ薬剤師・薬局」としての機能を発揮すべく、在宅対応を中心とした地域医療との連携、お薬手帳等を活用した薬剤に関する情報の一元的・継続的管理の強化及びジェネリック医薬品の使用を促進しております。

営業開発においては、調剤薬局の新規出店及びM&Aを活用し、事業規模の拡大を推進しております。

平成28年12月には、全国にグループ全体で調剤薬局115店舗を展開する株式会社葵調剤(宮城県仙台市)の子会社化を実施したことにより、薬局店舗数は、全国47都道府県で1,000店舗を超える規模となりました。地域医療のインフラとして、さらなる店舗網の充実を進めてまいります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,625億9千9百万円(前年同期比7.1%増)、セグメント利益は130億2千9百万円(同2.3%減)と増収減益となりました。

同期間の出店状況は、M&Aを含め、グループ全体で合計202店舗を出店し、14店舗の閉店により、当社グループにおける薬局総数は1,069店舗となりました。

(物販事業)

ドラッグストア事業は、同業間による同質化競争、業種間を超えた統合・再編による競合により、なおも厳しい市場環境が続いております。

当社グループでは、このような環境において、都市型ドラッグストア「アインズ&トルペ」の出店を継続的に実施するとともに、既存店の改装及び関連商品を中心とするMDの強化による集客力向上に努めております。また、「リップス&ヒップス」及び「ココデシカ」を始めとするオリジナルブランドを積極的に展開することにより、粗利率は向上しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、159億7百万円(前年同期比2.0%増)、セグメント損失は5億7千8百万円(前年同期は3億3千6百万円の損失)となりました。

同期間の出店状況は、「アインズ&トルペ」の形態により、コレットマーレ桜木町B1店(横浜市中区)、銀座並木通り店(東京都中央区)、北千住マルイ店(東京都足立区)、コレットマーレ桜木町店(横浜市中区)を出店したことに加え、オリジナルブランドを中心としたLIPS and HIPS Style Store 新さっぽろサンピアザ店(札幌市厚別区)を出店し、5店舗を閉店したことで、ドラッグストア店舗総数は52店舗となりました。

(その他の事業)

その他の事業における売上高は35億9千3百万円(前年同期比88.1%増)、セグメント損失は11億1千4百万円(前年同期は7億8千6百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より143億3千6百万円増の1,542億2千4百万円となりました。

主な要因は、新規出店及びM&Aによる事業規模の拡大に伴いのれんやたな卸資産が増加した一方で、売掛金が減少したことによるものであります。

負債の残高は、100億2千8百万円増の965億9千1百万円となりました。

短期及び長期借入金の残高は、110億1千9百万円増となる315億6千3百万円となりました。

純資産の残高は、43億7百万円増の576億3千2百万円となり、自己資本比率は0.8ポイント減少となる37.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月27日に公表いたしました平成29年4月期の通期連結業績予想を修正しております。なお、詳細につきましては、本日(平成29年3月2日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,647,300	26,292,014
受取手形及び売掛金	12,385,821	9,178,960
商品	10,661,177	12,966,081
貯蔵品	323,473	326,863
繰延税金資産	1,149,432	1,082,208
短期貸付金	639,457	790,885
未収入金	5,983,629	8,191,131
その他	2,806,438	2,334,464
貸倒引当金	△3,337	△6,544
流動資産合計	56,593,392	61,156,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,694,738	15,515,227
土地	9,537,493	10,021,126
その他(純額)	3,921,089	3,371,860
有形固定資産合計	28,153,320	28,908,215
無形固定資産		
のれん	33,337,372	41,714,203
その他	2,248,861	2,290,640
無形固定資産合計	35,586,233	44,004,844
投資その他の資産		
投資有価証券	2,677,643	2,725,418
繰延税金資産	2,038,851	2,206,644
敷金及び保証金	10,013,440	10,515,551
その他	6,062,530	5,486,136
貸倒引当金	△1,237,174	△778,525
投資その他の資産合計	19,555,292	20,155,225
固定資産合計	83,294,846	93,068,284
資産合計	139,888,239	154,224,349

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	39,987,595	41,032,529
短期借入金	5,690,001	9,313,789
未払法人税等	4,448,862	1,180,917
預り金	10,112,896	11,942,074
賞与引当金	1,633,520	810,150
役員賞与引当金	13,590	6,378
ポイント引当金	390,200	400,324
返品調整引当金	15,815	15,980
その他	4,452,428	4,555,446
流動負債合計	66,744,908	69,257,591
固定負債		
長期借入金	14,854,307	22,249,847
退職給付に係る負債	2,228,446	2,409,019
その他	2,735,964	2,675,499
固定負債合計	19,818,717	27,334,366
負債合計	86,563,626	96,591,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,682,976	8,682,976
資本剰余金	6,367,844	6,367,844
利益剰余金	38,605,783	42,776,278
自己株式	△419,311	△419,598
株主資本合計	53,237,293	57,407,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△63,296	113,245
退職給付に係る調整累計額	84,867	60,354
その他の包括利益累計額合計	21,570	173,600
非支配株主持分	65,748	51,288
純資産合計	53,324,613	57,632,391
負債純資産合計	139,888,239	154,224,349

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)
売上高	169,395,846	182,100,350
売上原価	142,049,330	152,007,928
売上総利益	27,346,515	30,092,422
販売費及び一般管理費	17,341,735	20,501,181
営業利益	10,004,780	9,591,241
営業外収益		
受取利息	42,977	72,183
受取配当金	33,477	38,666
受取手数料	49,455	31,128
不動産賃貸料	132,803	155,914
業務受託料	143,655	111,486
その他	420,964	293,484
営業外収益合計	823,333	702,864
営業外費用		
支払利息	71,594	120,313
債権売却損	60,594	48,973
不動産賃貸費用	65,628	63,387
貸倒引当金繰入額	282,600	-
その他	31,707	41,810
営業外費用合計	512,125	274,485
経常利益	10,315,987	10,019,621
特別利益		
投資有価証券売却益	-	152,400
固定資産売却益	23,681	10,717
違約金収入	68,196	-
受取保険金	13,122	70,379
その他	2,772	65,349
特別利益合計	107,773	298,847
特別損失		
固定資産除売却損	242,529	289,660
減損損失	96,273	72,827
事業再編損	98,637	-
その他	11,448	59,121
特別損失合計	448,889	421,610
税金等調整前四半期純利益	9,974,871	9,896,858
法人税等	4,427,691	4,472,517
四半期純利益	5,547,180	5,424,340
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,011	△14,460
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,531,168	5,438,800

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)
四半期純利益	5,547,180	5,424,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△161,265	176,542
退職給付に係る調整額	22,514	△24,513
その他の包括利益合計	△138,751	152,029
四半期包括利益	5,408,429	5,576,369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,392,417	5,590,829
非支配株主に係る四半期包括利益	16,011	△14,460

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年5月1日至平成28年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	151,884,602	15,601,084	1,910,159	169,395,846	-	169,395,846
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	242,067	242,067	△242,067	-
計	151,884,602	15,601,084	2,152,227	169,637,913	△242,067	169,395,846
セグメント利益又は損失(△)	13,341,126	△336,964	△786,910	12,217,251	△1,901,263	10,315,987

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,901,263千円には、全社費用が1,958,290千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が7,299千円、セグメント間取引消去が△64,327千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬事業」セグメントにおいて、調剤薬局事業会社13社ほか2社を買収しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては6,671,010千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成29年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	162,599,949	15,907,287	3,593,114	182,100,350	-	182,100,350
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	282,915	282,915	△282,915	-
計	162,599,949	15,907,287	3,876,029	182,383,266	△282,915	182,100,350
セグメント利益又は損失(△)	13,029,406	△578,991	△1,114,301	11,336,112	△1,316,491	10,019,621

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,316,491千円には、全社費用が2,506,952千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が△1,172,991千円、セグメント間取引消去が△17,470千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬事業」セグメントにおいて、調剤薬局事業会社38社を買収しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては10,629,661千円であります。